

図書館通信

9月の催しもの

※開催には、3密を避けるための対策を講じながら、安全に行えるように配慮しています。状況により中止・変更することがありますのでご了承ください。

★イベントカードについて★

4月に学校・幼稚園保育所を通じて配布いたしました「イベントカード」をお持ちの方は、ぜひご利用ください。図書館主催のイベントに参加するともらえるスタンプを5個集めると、いっとくんオリジナル缶バッチをプレゼントします。イベント参加者でカードをお持ちでない方に配布もしています。カードの有効期限はありませんので、気長にチャレンジしてみてください。

★ダンボの会のおはなし会について★

読み聞かせボランティア「ダンボの会」によるおはなし会は、当面の間中止とさせていただきます。再開するときはお知らせいたします。

お問い合わせ 市貝図書館 ☎68-4380

●歴史民俗資料館のイベント

★第41回企画展「古い道具と昔の暮らし」

期間：9月19日（土）～10月25日（日）

※休館日は図書館と同じ

内容：資料館収蔵の昔の生活用具を紹介し、現在との生活スタイルの違いを学びます。



お問い合わせ：中央公民館 ☎68-0020

市貝町立図書館

〒321-3423

栃木県芳賀郡市貝町 市塙147

TEL 0285-68-4380

URL <http://www.library.ichikai.tochigi.jp/>

としょかんのひとりごと

検索

ブログはこちら

ツイッターでも
情報配信中！



市貝町立図書館『いっとくん』

@ittokun_ichikai



★開館時間について★

当面の間、9：30～17：30での開館となります。変更するときはお知らせいたします。ホームページやtwitterでも情報を更新しています。



★ご利用いただける図書館サービス★

- 資料の貸出・返却・予約
- 館内での資料の閲覧（座席数制限あり）
- 2階デスクの使用（時間制限あり・要申込）

感染症対策のため、一部サービスのみとさせていただきます。変更・再開するときはお知らせいたします。どうぞよろしく願いいたします。



★アルコールディスペンサーを 寄贈していただきました★

利用者様より手作りのアルコールディスペンサーを寄贈していただきました。

ペダルを踏むだけでアルコールが出る優れものです。玄関を入れてすぐの場所に設置してあります。ぜひご注目ください。



★蔵書点検のお知らせ★

蔵書点検のため

10月6日（火）～10月9日（金）

の期間は**休館**となります。

皆さまが利用しやすいように所蔵資料の点検・整理を行います。ご理解とご協力をお願いいたします。下記カレンダーをご参照ください。



図書館カレンダー



9月						
日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30※			

10月						
日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

※月末資料整理日

■…休館日

9月1日は「防災の日」

9月1日は「防災の日」です。1923年9月1日に発生した関東大震災に由来し制定されました。全国各地で防災訓練が行われます。

栃木県は比較的災害が少ない地域と言われてきましたが、昨年10月に発生した台風19号により、河川の氾濫など大きな被害がありました。また、2011年3月11日の東日本大震災も記憶に新しいところです。

しかし、大変だった時を過ぎると、防災への備えはついつい後回しになってしまいます。高齢のご家族がいらっしゃる方、勤務先や学校が遠い方、犬や猫などのペットがいる方…など、ご家庭によって生活スタイルは様々です。

図書館では、防災関連の本もたくさんあります。もしもの時に備えてぜひ参考にしてみてください。

一例をご紹介します…



イラスト
満載で
分かり
やすい

「被災ママに学ぶ
ちいさな防災の
アイデア40」
アベ ナオミ//著
(学研プラス)

「シニアのための防災手帖」

三平 洵//監修
(産業編集センター)

おいしいちゃん、
おばあちゃんを
守る!

「備えいらずの防災レシピ」

飯田 和子//著
(東京法令出版)

おうちにある物で
なんとか乗り切る!

「今からできる! 日常防災」

日頃から
対策!

永田 宏和//監修
(池田書店)

とにかく
逃げる!

「旅行に行った気分になれる本」

「来ちゃった」

酒井 順子//著
(小学館)



今年の夏は、いえ春から旅行どころではありませんでした。観光地でもお土産がさっぱり売れないとか。堂々と「〇〇へ行ってきました」と言えない雰囲気。この先もいつになったら行きたいところへ行けるようになるのか。

でも、明けない夜はありません。きっと元のように旅行できる時がくるはず。この本の著者は、ガイドブックに載らない旅をしています。日本の端っこ宗谷岬から40歳の新たなスタートを感じてみる、とか、仙台と山形の芋煮会をはしごする、とか、出生率日本一の沖縄県多良間島へ行ってみるとか。時には海外へも足をのばすこの旅行記を読みながら、コロナ禍が収まったらどこへ行こうかと考えてみませんか。旅の計画ってわくわくしますよね。

「災害に備える本」

「にげましょう」

河田 恵昭//著
(共同通信社)



今、私達は、様々な災害と共に生きています。災害時、「にげる」はとてもシンプルで、そして、一番難しい行動です。

この本は、災害から命を守るための「ひなん絵本」です。ただ真っすぐに、「にげましょう」と私たちに伝えてくれます。私達は、この本の呼びかけに、今、応えられるでしょうか。

「にげる事は、生きること」です。どんな状況下においても「にげる」事がマイナスにならないよう、人や組織を大切にする「生きる」に繋がる社会である様に願うばかりです。

この本を通して、ぜひ、ご家族で色々話し合う機会になればと思います。

スタッフのおすすめ

スタッフのおすすめ

しゅうちゃんのひとりごと



九州地方を襲った「令和2年7月豪雨」やコロナ禍により、陰に隠れてしまったが長い休校が明けた6月、中高生の自殺とみられる事故が相次いだ。東京八王子市で高1男子が米国製拳銃を使って自宅で死亡。北海道登別市の道営住宅敷地内で中1男子が倒れて死亡していた事件、他にも鉄道事故など続いた。毎年、夏休みが終わる前後は、1年のうち子どもの自殺が飛び抜けて多いようだ。今年は特に心配している。子どもの自殺にも動機はあるが、大人に理解できない小さなきっかけが原因で自殺してしまうことが多々あると思われる。大人にとっては小さなことでも子どもにとっては死を考えるような深刻なこともかもしれないのだ。純粋すぎたり敏感すぎる心の動き、不登校、家出、非行などが自殺の前に起こることもある。また、友人に同情して一緒に死んだり、後追い自殺することもある。特効薬があるわけではありません。ある大学の先生の講演を聞いたことがあるが、今でも脳裏にこびり付いている。「叱るのもしつけるのも大切だが、子どもの心に共感することがもっと大切。子どもの悲しさ、淋しさ、悔しさにまず寄り添い、守ってくれているという安心感を子どもに与えることです。それにはまず、大人が生きる意味を見出していること。輝いていることが大切なのです」と。私も、根底は何といっても家族全体が愛情に包まれた雰囲気を持つことが必要で、特に夫婦は仲良くできればいいと思っている……。 お問い合わせ ☎68-4380